JPEC BULLETIN
研修センター ニュース
Nov. 2026

編集・発行
公益財団法人
日本薬剤師研修センター
東京都港区西新橋2-3-1
マークライト虎ノ門６階
電話(代表)03-6457-9041
URL https://www.jpec.or.jp/
製　作　(株)薬事日報社

# 医薬品の知識を深化させ、多様な患者ニーズに対応できる薬剤師に

独立行政法人医薬品医療機器総合機構　理事（技監）　田宮 憲一

新規モダリティの新薬の登場、外来化学療法の進展、在宅で療養する患者の増加、ポリファーマシー対策における薬剤師への期待など、薬剤師を取り巻く環境は刻々と変化しています。また、ICT技術の進展やSNSの普及により、患者さんが容易に、しかし、必ずしも正しくない医薬品や疾患の情報を入手できる状況下で、薬剤師に求められる役割はより複雑化、多様化しています。

薬剤師が患者さんごとの様々なニーズに応えていくためには、新薬等の有効性や安全性について、臨床試験成績や医療の実態を踏まえたより深い知識と理解を身に付けるとともに、適切な研修プログラム等を活用した自己研鑽により、専門性を高めていくことが不可欠だと感じています。

例えば、昨年の薬機法の改正により医薬品リスク管理計画（RMP）が法制化され、来年５月に施行されますが、RMPや新薬承認時にPMDAが作成する審査報告書は、臨床試験成績や医療の実態を踏まえて当該医薬品の有効性や安全性、潜在的リスク等をより深く理解するための有用なツールです。

PMDAでは、ウェブサイトでRMPについて分かりやすく解説しているほか、新薬の審査報告書やRMP等を公開しています。患者さんが生成AI等を用いて必ずしも自分の状態にはそぐわない情報を入手する可能性がある中、皆さんには是非RMPや審査報告書を熟読していただき、患者さんに対する適切な薬物療法の提供に活用いただきたいと思います。

また、令和８年度調剤報酬改定では、かかりつけ薬剤師によるポリファーマシーへの包括的介入が服用薬剤調整支援料２（1,000点）として新たに評価され、必要な研修を受けたかかりつけ薬剤師が、患者の服薬状況等に係る総合的な評価を行い、処方薬の調整について文書で処方医に提案した場合（いわゆる薬剤レビューを行った場合）に算定できることとされました。そして、当該研修の受講資格として、日本薬剤師研修センターが実施する薬剤師生涯学習達成度確認試験に合格していること等が定められました。

超高齢社会の下、ポリファーマシーの解消に貢献する薬剤師への期待は大きく、是非、自己研鑽によりこのような高い専門性を習得し、薬物療法の最適化に貢献していただきたいと思います。

上記の例に限らず、医薬品の有効性、安全性に関するより深い知識を有し、患者ニーズを踏まえた対応ができる薬剤師が増えることを期待しています。

## 今月の主な記事

巻　頭
・医薬品の知識を深化させ、多様な患者ニーズに対応できる薬剤師に　1
センターからのお知らせ
・薬剤師生涯学習達成度確認試験　第10回試験結果及び第11回試験ご案内　2
センター主催研修会
・2027年度「漢方薬・生薬研修会」のご案内　3
認定対象研修会
・認定対象研修会のご案内　4

# 薬剤師生涯学習達成度確認試験<br>第10回試験結果及び第11回試験ご案内

薬剤師の生涯学習は、その業務が多様化・高度化する中で、自己評価を行いながら、さらに必要な学習に取り組むためのものです。薬剤師生涯学習達成度確認試験は、薬剤師が自身の学習成果を確認するための外部評価の一つです。

当試験は2016年にスタートし、2026年７月には第10回試験が全国７か所で実施され、419名が受験し、238名が合格（合格率57％）しました。合格者のうち当財団の研修認定薬剤師である者には「生涯学習指導薬剤師」の称号が付与され、今後発給される合格者の認定薬剤師証にその称号を付加記載します。

次回、**第11回薬剤師生涯学習達成度確認試験は、2027年（令和９年）７月25日(日)に全国８都道府県（北海道、宮城県、東京都、埼玉県、愛知県、大阪府、岡山県、福岡県）で開催されることとなりました。また、本試験より新たに埼玉県会場を設けました。**

なお、受験資格は、薬剤師免許取得後５年以上（確認試験申込時点で５年を経過している者）の方等が対象者となります。

確認試験の申込期間中に免許登録日より５年が経過する場合は、**５年経過の到達日以降にお申込み下さい。**

【例】申込期間が「2027年４月１日～４月30日」
・免許登録日が**2022年４月１日まで→**申込可能
・免許登録日が**2022年４月２日～４月30日→**登録日から５年経過後に申込可能
・免許登録日が**2022年５月１日以降→**申込不可

生涯学習の到達度を確認する機会として、多くの薬剤師の皆様による試験のご活用をお待ちしています。

**◆第11回試験スケジュール**　※詳細は当財団ホームページ等で公表予定

2026年　12月頃　薬剤師生涯学習達成度確認試験申込み要領公表
2027年　４月１日(木)　試験申込開始（４月末まで）
　　７月25日(日)　第11回薬剤師生涯学習達成度確認試験実施
　　９月頃　合格者発表

**◆参考資料**

試験範囲、参考となる図書等については下記QRコード（日本医療薬学会ホームページ）よりご確認下さい。

・試験範囲（出題ガイドライン）
https://www.jsphcs.jp/wp-content/uploads/2024/10/q-guideline.pdf

・試験範囲（出題範囲と例題）
https://www.jsphcs.jp/wp-content/uploads/2024/10/q-example.pdf

・参考図書
https://www.jsphcs.jp/wp-content/uploads/2024/10/q-book.pdf

# 2027年度「漢方薬・生薬研修会」のご案内

当財団と一般社団法人日本生薬学会は、2027年度の漢方薬・生薬研修会を下記のとおり開催いたします。
なお、本研修会の受講は「漢方薬・生薬認定薬剤師」を取得するために必要となります。

**◆研修会の目的**

漢方薬及び生薬に関して、服薬指導や適正な取扱いなど薬学的管理を的確に行える薬剤師の養成を目的とします。

**◆研修会の概要**

研修会は「座学研修」と「インターネット研修」のどちらかを選択しての受講となります。

**１．座学研修（東京）**

**内容**：集合研修（全９回）と薬用植物園実習（１回必須）
**日程**：集合研修は４月から12月まで各月１回（日曜日）開催
**会場**：ベルサール神保町アネックス
（東京都千代田区神田神保町２丁目36-1　住友不動産千代田ファーストウイング１階）
**定員**：100名

**２．インターネット研修**

**内容**：e-ラーニング研修（全９回）と薬用植物園実習（１回必須）。
e-ラーニング研修は、2027年度研修会を収録したものをストリーミング（オンデマンド）配信します。
**配信期間**：2027年６月上旬から2028年３月末（各月収録後に順次配信）
**定員**：650名

※いずれの研修においても、薬用植物園実習への参加は別途申込が必要となります。

**◆受講料**

**税込60,500円**（本体55,000円、税5,500円）
※座学研修、インターネット研修共通
※テキスト代・試問料及び薬用植物園実習料（ただし、申込年度受講に限る）込

**◆申込方法**

「PECS（薬剤師研修・認定電子システム）」からお申込下さい。
※PECSに未登録の場合は、新規登録（無料）が必要となります。

**◆申込受付期間**

2026年12月１日(火)～2027年３月19日(金)
※各研修ともに定員となり次第に締切となります。

# 認定対象研修会のご案内

## 各都道府県で開催される研修認定薬剤師制度対象研修会

認定対象研修会をご案内します。これらの研修会の認証番号はG01です。

研修会によっては、参加資格、参加費用が必要な場合や、定員により受講申込を締め切っている場合等がありますので、それぞれの問い合わせ先にご確認の上、ご参加下さい。

一覧表で、「適用（漢方薬生薬認定）」欄に◎又は●印のついている研修会に参加し取得した単位は、「漢方薬・生薬認定薬剤師更新のための単位」として利用でき、◎印は必須研修の対象となります。「適用（小児認定）」欄に◎又は●印のついている研修会に参加し取得した単位は、「小児薬物療法認定薬剤師更新のための単位」としても利用でき、◎印は必須研修の対象となります。

なお、直近の情報については、当財団ホームページでご案内しておりますので、併せてご活用下さい（情報が変更になっている場合もあります。ご注意下さい）。

### □集合研修会・学術集会

研修会参加の際は、問い合わせ先に事前連絡の上、参加の可否を確認して下さい。

（事前にPECS（薬剤師研修・認定電子システム）に個人情報登録の完了が必要です。個人情報登録（新規登録）をされていない方は、まず登録をお願いします（１回のみ）。登録に際しては、必ず薬剤師免許証の記載と照合して誤りがないようにして下さい。）

研修会当日は、下記を必ず持参して下さい。

・本人確認ができるもの

・PECSに個人情報登録した後、PECSより表示されるQRコード

（QRコードを読取装置に提示し読み取らせます。受講受付時と受講終了後の２回の読取りが必要。）

### ▶各都道府県で開催される集合研修会・学術集会

| 都道府県 | 開催日 | 研修会名称<br>研修会内容 | 主催者（実施機関）<br>問い合わせ先 | 会場 | 確定単位数 | 適用（漢方薬生薬認定） | 適用（小児認定） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 富山 | 11／６（金） | **在宅医療を支える多職種連携講演会（会場）**<br>訪問看護の立場から現場の“困った”をみんなで考える | 公益社団法人　富山県薬剤師会<br>info@tomiyaku.or.jp（寺本由香里） | ウイング・ウイング高岡<br>研修室503号 | 1 | | |
| 佐賀 | 11／７（土） | **第102回　医療薬学公開シンポジウム**<br>地域医療を支える薬剤師出向・育成・定着の戦略 | 一般社団法人　日本医療薬学会<br>0952-34-3164<br>（佐賀大学医学部附属病院薬剤部） | グランデはがくれ | 2 | | |
| 愛知 | 11／８（日） | **第53期　東海漢方入門講座　11月例会**<br>誰でも分かる漢方基礎「五臓　肝」 | 東海漢方協議会<br>kanpou.tokai@gmail.com<br>（柴田裕紀子） | 名城大学　八事キャンパス | 3 | ◎ | |
| 長崎 | 11／８（日） | **第15回　長崎国際大学薬学部 生涯教育セミナー**<br>医薬品の市販後の安全性対策の動向について | 長崎国際大学薬学部<br>okubo@niu.ac.jp（大久保伸哉） | 長崎国際大学　7201教室 | 1 | | |
| 東京 | 11／14（土） | **第103回　医療薬学公開シンポジウム**<br>患者中心のメディケーションレビュー～総合診療医が実践する多疾患併存時代の薬物療法最適化～ | 一般社団法人　日本医療薬学会<br>hanawalab@rs.tus.ac.jp<br>（岩長かおる） | 東京理科大学　森戸記念館 | 2 | | |
| 愛知 | 11／15（日） | **第42回（令和８年）　名古屋市立大学薬学部卒後教育講座**<br>高血圧管理・治療ガイドライン2025の改訂ポイントを踏まえた医薬連携の重要性 | 名古屋市立大学大学院薬学研究科<br>sotsugo@phar.nagoya-cu.ac.jp<br>（横倉清子） | 名古屋市立大学薬学部<br>宮田専治記念ホール | 2 | | |
| 兵庫 | 11／29（日） | **令和８年度　兵庫県部会**<br>東洋医学の基礎から最新の臨床・研究報告 | 日本東洋医学会関西支部<br>tmof@nyc.odn.ne.jp（福永智栄） | 神戸大学医学部　楠キャンパス　シスメックスホール | 2 | ● | |
| 東京 | 11／29（日） | **薬用植物・生薬・漢方に関する講座**<br>薬を創った植物たちⅡ | 公益社団法人　東京生薬協会<br>jimukyoku-2@tokyo-shoyaku.com<br>（笠原良二） | 東京都薬用植物園　研修室 | 2 | ● | |

◎：必須研修の対象となります。

| 都道府県 | 開催日 | 研修会名称<br>研修会内容 | 主催者（実施機関）<br>問い合わせ先 | 会場 | 確定単位数 | 適用<br>（漢方薬生薬認定） | 適用<br>（小児認定） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 愛知 | 12／６(日) | 第53期　東海漢方入門講座　12月例会<br>誰にも分かる漢方基礎「五臓　心」 | 東海漢方協議会<br>kanpou.tokai@gmail.com<br>(柴田裕紀子) | 名城大学　薬学部 | 3 | ◎ | |
| 山口 | 12／10(木) | 転倒・骨折予防のための薬物療法の考え方<br>薬による転倒・骨折から守るためにできること | 山陽小野田市立山口東京理科大学<br>0836-88-4515（久保田友代） | 公立大学法人　山陽小野田市立山口東京理科大学 | 1 | | |
| 滋賀 | 12／13(日) | 日本東洋医学会　関西支部滋賀県部会<br>当院産婦人科における疼痛治療への漢方治療 | 日本東洋医学会関西支部<br>kanpou@ukita.gr.jp（荒木あゆみ） | せせらぎ会浮田クリニック<br>マムズガーデン　研修室せせらぎ | 2 | ● | |
| 栃木 | 12／19(土) | 東北医科薬科大学同窓会栃木県支部　漢方養生講座<br>薬膳の基礎と季節の養生②冷え対策 | 東北医科薬科大学同窓会栃木県支部<br>028-633-2506（伊藤） | 栃木県総合文化センター<br>３階　特別会議室 | 1 | ● | |
| 東京 | 12／20(日) | 2026年度　日漢協漢方総合講座（第36回）<br>かかりつけ薬剤師と漢方薬Ⅰ | 一般社団法人　日本漢方協会<br>j.kampo@jeans.ocn.ne.jp（山内） | 全水道会館 | 3 | ◎ | |
| 東京 | 12／20(日) | 薬用植物・生薬・漢方に関する講座<br>かぜの治療に用いられる漢方薬 | 公益社団法人　東京生薬協会<br>jimukyoku-2@tokyo-shoyaku.com<br>(笠原良二) | 東京都薬用植物園　研修室 | 2 | ● | |
| 愛知 | 2027年<br>１／10(日) | 第53期　東海漢方入門講座　１月例会<br>誰にも分かる漢方基礎「五臓　腎」 | 東海漢方協議会<br>kanpou.tokai@gmail.com<br>(柴田裕紀子) | 名城大学　薬学部 | 3 | ◎ | |
| 東京 | １／17(日) | 2026年度　日漢協漢方総合講座（第36回）<br>"女性の漢方：主に性成熟期から更年期について" | 一般社団法人　日本漢方協会<br>j.kampo@jeans.ocn.ne.jp（山内） | 全水道会館 | 3 | ◎ | |
| 東京 | ２／５(金) | 病院中堅職員育成研修「薬剤部門管理コース」<br>１日目<br>病院薬剤師への期待 | 一般社団法人　日本病院会<br>chuken@hospital.or.jp（大石亜弥） | 一般社団法人　日本病院会<br>２階セミナールーム | 3 | | |
| 東京 | ２／６(土) | 病院中堅職員育成研修「薬剤部門管理コース」<br>２日目<br>病棟における薬剤師の業務 | 一般社団法人　日本病院会<br>chuken@hospital.or.jp（大石亜弥） | 一般社団法人　日本病院会<br>２階セミナールーム | 2 | | |
| 愛知 | ２／14(日) | 第53期　東海漢方入門講座　２月例会<br>誰にも分かる漢方基礎「四診と経絡①」 | 東海漢方協議会<br>kanpou.tokai@gmail.com<br>(柴田裕紀子) | 名城大学　薬学部 | 3 | ◎ | |
| 石川 | ３／７(日) | 第９回　簡易懸濁法実技セミナー in 金沢<br>講義「簡易懸濁法の基本と製剤学」 | 北陸大学薬学部<br>k-okimura@hokuriku-u.ac.jp<br>(奥村桂子) | 北陸大学薬学部　実験科学棟 | 2 | | |
| 愛知 | ３／14(日) | 第53期　東海漢方入門講座　３月例会<br>誰にも分かる漢方基礎「四診と経絡②」 | 東海漢方協議会<br>kanpou.tokai@gmail.com<br>(柴田裕紀子) | 名城大学　薬学部 | 3 | ◎ | |

◎：必須研修の対象となります。

□ウエブ利用研修（集合研修即時配信）・ウエブ利用研修（学術集会）

研修会参加の際は、問い合わせ先に事前連絡の上、参加の可否を確認して下さい。

（事前にPECS（薬剤師研修・認定電子システム）に個人情報登録の完了が必要です。個人情報登録（新規登録）をされていない方は、まず登録をお願いします（１回のみ）。登録に際しては、必ず薬剤師免許証の記載と照合して誤りがないようにして下さい。）

研修会実施機関において本人確認・受講確認がされます。研修会実施機関の指示に従って受講して下さい。

▶各都道府県で開催されるウエブ利用研修（集合研修即時配信）・ウエブ利用研修（学術集会）

| 開催日 | 研修会名称<br>研修会内容 | 主催者（実施機関）<br>問い合わせ先 | 確定単位数 | 適用<br>（漢方薬生薬認定） | 適用<br>（小児認定） |
|---|---|---|---|---|---|
| 11／７(土) | 第19期　中医学研修講座　基礎の部<br>13. 六経弁証（傷寒） | 一般財団法人　東方医療振興財団<br>gakkai@jptoho.or.jp（佐藤） | 1 | ● | |
| 11／10(火) | 薬学推論講座<br>危ない「下痢」の見分け方 | 一般社団法人　ミライ在宅委員会<br>kaneyasu@dai-oh.co.jp（兼康あずさ） | 1 | | |
| 11／11(水) | 第44回　ABCセミナー<br>頭頸部がんの薬物療法 | 公益財団法人　がん研究会有明病院<br>shingo.kawano@jfcr.or.jp（河野慎吾） | 1 | | |
| 11／11(水) | 嘔気の裏で“何が起きているか”を描け！<br>嘔気の裏で“何が起きているか”を描け！――臨床推論×薬剤師の悄熱で救う90分 | 一般社団法人　リード・コンファーマ<br>info@lead-conpharm.or.jp（半沢悟） | 1 | | |

◎：必須研修の対象となります。

| 開催日 | 研修会名称<br>研修会内容 | 主催者（実施機関）<br>問い合わせ先 | 確定単位数 | 適用<br>（漢方薬生薬認定） | 適用<br>（小児認定） |
|---|---|---|---|---|---|
| 11／13(金) | 日本服薬支援研究会　健康長寿部会Web講演会<br>ポリファーマシー対策のその先へ―CGA・Geriatric 5Ms・多職種連携で支える高齢者の薬物療法― | 日本服薬支援研究会<br>fukuyaku.event@gmail.com（武藤浩司） | 1 | | |
| 11／14(土) | 薬剤師ぐんぐん研修ベーシックコース<br>心不全患者の薬物療法支援 | 一般社団法人　ミライ在宅委員会<br>kaneyasu@dai-oh.co.jp（兼康あずさ） | 1 | | |
| 11／17(火) | 座間市薬剤師会　漢方基礎講座<br>耳鳴り・難聴の漢方薬の使い方 | 座間市薬剤師会<br>zamayaku.learning@gmail.com（橋本） | 1 | ● | |
| 11／18(水) | 副作用マスター講座<br>深堀り！抗コリン作用 | 一般社団法人　日本臨床薬理学会<br>kaneyasu@dai-oh.co.jp（兼康あずさ） | 1 | | |
| 11／18(水) | 薬剤師のための生成AI活用講座～安全な活用から薬歴・臨床業務への応用まで(２)<br>生成AIを薬剤師業務で「使いこなす」ためのポイント～文献評価・トレーシングレポート・薬歴作成支援の実践～ | 一般社団法人　ファルマ・プラス<br>seminar@pharma-plus.info（ファルマ・プラス事務局） | 1 | | |
| 11／19(木) | 薬剤師のための「ADHD治療を考える」セミナー～薬物療法から患者支援まで～<br>ADHDに対する薬物療法の臨床と基礎 | 一般社団法人　ファルマ・プラス<br>seminar@pharma-plus.info（ファルマ・プラス事務局） | 1 | | ● |
| 11／24(火) | 薬局・薬剤師2026年11月Webセミナー<br>現場の視点をShare：高齢者糖尿病ケアの勘所と在宅フォローの実際 | 一般社団法人　ファルマ・プラス<br>seminar@pharma-plus.info（ファルマ・プラス事務局） | 1 | | |
| 11／26(木) | 「ワンランク上の薬剤師を目指す」オンライン研修会<br>「地域薬局はセルフケアとプライマリヘルスケアの中心」 | 浅草薬剤師会<br>asayaku@gmail.com（事務局） | 1 | | |
| 11／26(木) | 第４回　てんかん臨床プロファイリング・マスタークラス<br>処方箋からみる！発達に課題のあるこどものてんかん | SAChiプロジェクト<br>090-4288-5337（古武幸之） | 1 | | ● |
| 12／５(土) | 薬剤師ぐんぐん研修ベーシックコース<br>検査値の読み解き方 | 一般社団法人　ミライ在宅委員会<br>kaneyasu@dai-oh.co.jp（兼康あずさ） | 1 | | |
| 12／７(月) | インスリン・GLP-1受容体作動薬の最新アップデート！<br>薬剤師が押さえるべき糖尿病注射療法 | 一般社団法人　リード・コンファーマ<br>info@lead-conpharm.or.jp（半沢悟） | 1 | | |
| 12／10(木) | 「ワンランク上の薬剤師を目指す」オンライン研修会<br>薬局・薬剤師の未来を地域からつくる | 浅草薬剤師会<br>asayaku@gmail.com（事務局） | 1 | | |
| 12／13(日) | 日本東洋医学会　関西支部滋賀県部会<br>当院産婦人科における疼痛治療への漢方治療 | 日本東洋医学会　関西支部<br>kanpou@ukita.gr.jp（荒木あゆみ） | 2 | ● | |
| 12／15(火) | 座間市薬剤師会　漢方基礎講座<br>脱毛症の漢方薬の使い方 | 座間市薬剤師会<br>zamayaku.learning@gmail.com（橋本） | 1 | ● | |
| 12／20(日) | 2026年度　日漢協漢方総合講座（第36回）<br>かかりつけ薬剤師と漢方薬Ⅰ | 一般社団法人　日本漢方協会<br>j.kampo@jeans.ocn.ne.jp（山内） | 3 | ◎ | |
| 12／22(火) | 薬学推論講座<br>危ない「息切れ」の見分け方 | 一般社団法人　ミライ在宅委員会<br>kaneyasu@dai-oh.co.jp（兼康あずさ） | 1 | | |
| 2027年<br>１／13(水) | その咳、“様子見”で本当に大丈夫？<br>その咳、“様子見”で本当に大丈夫？――薬剤師の臨床推論で救う咳症状の真相 | 一般社団法人　リード・コンファーマ<br>info@lead-conpharm.or.jp（半沢悟） | 1 | | |
| １／16(土) | 第19期　中医学研修講座　基礎の部<br>15. 中薬学（Ⅰ） | 一般財団法人　東方医療振興財団<br>gakkai@jptoho.or.jp（佐藤） | 1 | ● | |
| １／17(日) | 2026年度　日漢協漢方総合講座（第36回）<br>“女性の漢方：主に性成熟期から更年期について” | 一般社団法人　日本漢方協会<br>j.kampo@jeans.ocn.ne.jp（山内） | 3 | ◎ | |
| １／19(火) | 薬学推論講座　危ない「風邪症状」の見分け方<br>危ない「風邪症状」の見分け方 | 一般社団法人　ミライ在宅委員会<br>kaneyasu@dai-oh.co.jp（兼康あずさ） | 1 | | |
| １／28(木) | 第５回　てんかん臨床プロファイリング・マスタークラス<br>処方箋からみる！こどもによくあるてんかん | SAChiプロジェクト<br>090-4288-5337（古武幸之） | 1 | | ● |
| ２／６(土) | 第19期　中医学研修講座　基礎の部<br>17. 中薬学（Ⅲ） | 一般財団法人　東方医療振興財団<br>gakkai@jptoho.or.jp（佐藤） | 1 | ● | |
| ２／16(火) | 薬学推論講座　危ない「浮腫」の見分け方<br>危ない「浮腫」の見分け方 | 一般社団法人　ミライ在宅委員会<br>kaneyasu@dai-oh.co.jp（兼康あずさ） | 1 | | |
| ２／21(日) | 2026年度　日漢協漢方総合講座（第36回）<br>皮膚科の漢方 | 一般社団法人　日本漢方協会<br>j.kampo@jeans.ocn.ne.jp（山内） | 3 | ◎ | |
| ２／25(木) | 第６回　てんかん臨床プロファイリング・マスタークラス<br>処方箋からみる！てんかんのレスキュー薬（日常生活での使用）を学ぶ | SAChiプロジェクト<br>090-4288-5337（古武幸之） | 1 | | ● |
| ３／11(木) | 「ワンランク上の薬剤師を目指す」オンライン研修会<br>薬剤師のためのFD研修会～薬剤師として大切な態度を育て、伝える～ | 浅草薬剤師会<br>asayaku@gmail.com（事務局） | 1 | | |
| ３／21(日) | 2026年度　日漢協漢方総合講座（第36回）<br>こころの時代の漢方治療 | 一般社団法人　日本漢方協会<br>j.kampo@jeans.ocn.ne.jp（山内） | 3 | ◎ | |

◎：必須研修の対象となります。